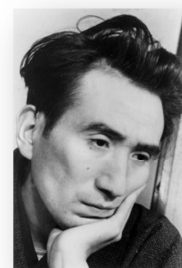


# ソロモンの壮大な実験

伝道者の書2章

## I. 人生をためしたソロモン

1. 努力によって：王宮の建設、途方もない蓄財  
「自分のために」(8回)
2. 快楽によって：贅沢、娯楽、千人の美女に囲まれる生活
3. 過程は楽しかった(10 節)
4. しかし、実現してみると空しかった(11 節)
5. 太宰治 『トカントン』 (昭和22年発表)



太宰治  
(1909 - 1948)

## II. 人生を憎んだソロモン

1. 知恵ある者も愚かな者も、死を免れない(16 節)

ヨブ記 3 : 19 かしこでは、下の者も上の者も同じで、  
奴隷も主人から解き放たれている。

2. 自分が得たものをすべて残していかなければならない(18 節)

ルカの福音書 12 : 20 『愚か者、おまえのたましいは、  
今夜おまえから取り去られる。おまえが用意した物は、い  
ったいだれのものになるのか。』

3. 自分の跡継ぎがすべてを浪費するかもしれない(19~22 節)  
ソロモンの死後、王国は分裂 (息子、レハブアムの失政)
4. 自分のしたことの報いは免れない(23 節) 王国の衰退が始まる  
重税の取り立て、王の贅沢に対する民の怨嗟
5. オスカー・ワイルド 『獄中記』

ガラテヤ 6 : 7 思い違いをしてはいけません。神は侮ら  
れるような方ではありません。人は種を蒔けば、刈り取り  
もすることになります。



オスカー・ワイルド  
(1854~1900)

## III. 人生を受け入れたソロモン

1. 神を認めたとときに見方が一変 (24~26 節)
2. 「食べる」「飲む」「労苦に満足を見出す」「楽しむ」ことができるのは神を認めてこそ。(25 節)
3. 知恵と知識と喜びは神から与えられる(26 節)
4. 罪人が得をすることはない(26 節)
5. 日本人がイメージする神と、聖書の神

詩篇 116 : 6 主は無学な者(the simple)  
を守られる。わたしが低くされたとき、主  
はわたしを救われた。(口語訳)

テモテへの手紙第一 6 : 15 ~ 18 **神は祝福に満ちた唯一の主権者、王の王、主の主、ただひとり死のない方であり、近づくこともできない光の中に住まれ、人間がだれひとり見たことのない、また見ることもできない方です。誉れと、とこしえの主権は神のものです。アーメン。**

この世で富んでいる人たちに命じなさい。高ぶらないように。また、たよりにならない富に望みを置かないように。むしろ、**私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませてくださる神**に望みを置くように。また、人の益を計り、良い行いに富み、惜しまずに施し、喜んで分け与えるように。